

# 橋小学校等複合化整備事業 に関する説明会

名古屋市  
令和5年11月27日／12月 9日

## はじめに ～説明会の趣旨～

- 本日の説明会は、橋小学校等複合化整備事業について、最新の情報をお知らせするものです。
- この施設は、民間活力により整備し、建物の設計や工事の内容は、民間事業者に委ねます。  
建物の外観や各部屋の具体的な配置などは、設計が始まる令和7年度以降に決まります。
- 現時点での状況をできる限りご説明するとともに、皆様のご質問にもお答えしたいと思いますので、よろしくご理解くださいますようお願いいたします。

## 説明会の内容

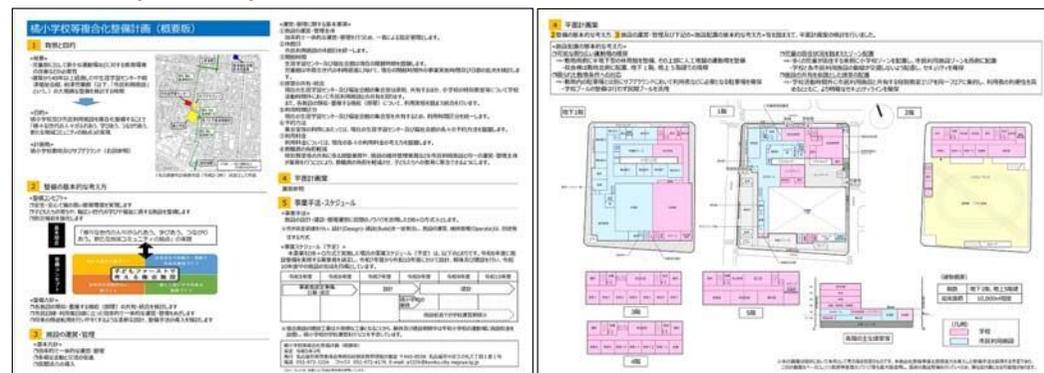
### I 事業の説明

- 1 橋小学校等複合化整備計画の概要
- 2 事業の進捗状況
- 3 仮設校舎での学校運営

### II 質疑応答

## 1 橋小学校等複合化整備計画の概要

A3判(二つ折り)の資料をご覧ください。

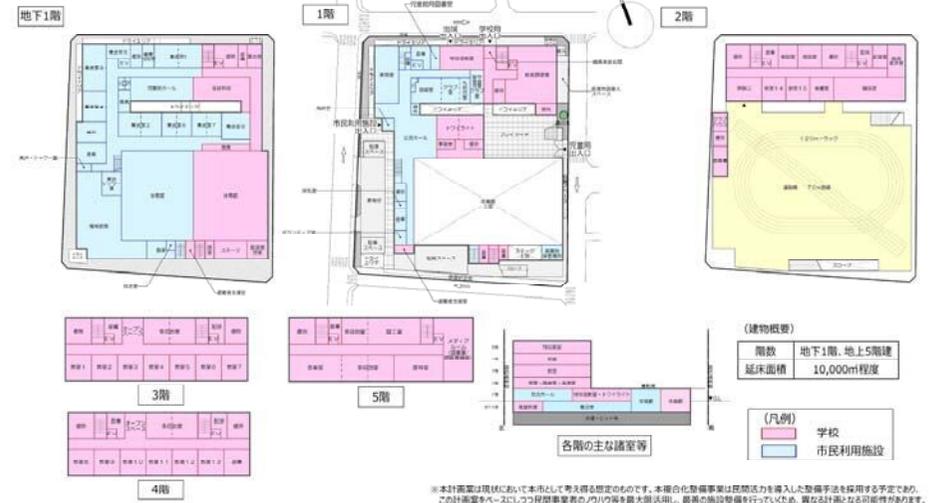


★複合施設の外観（全体）＜イメージ＞



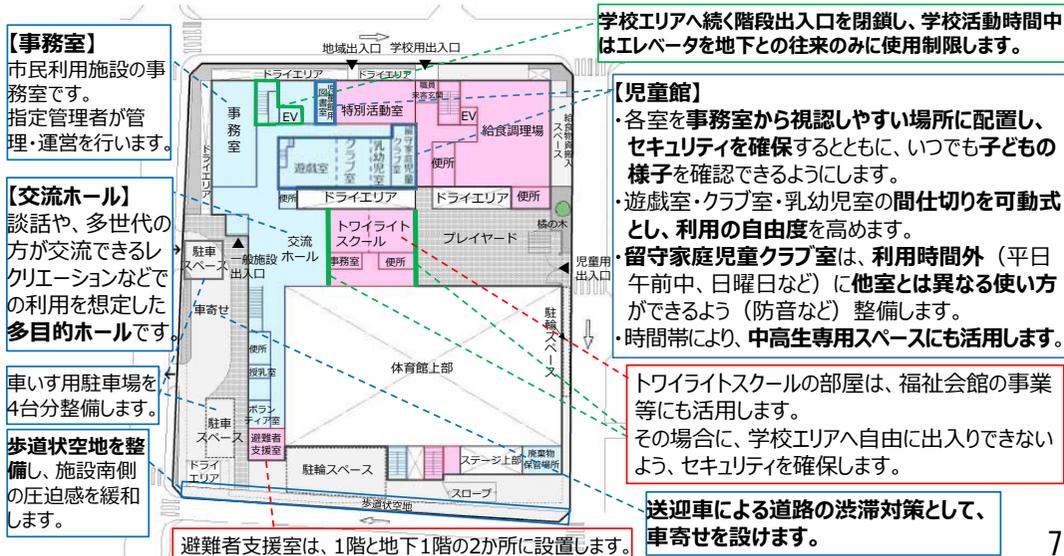
- ・敷地南側に半地下型の体育館を整備し、その上部に人工地盤の運動場を整備します。
- ・校舎棟は敷地北側に配置します。  
地下1階、地上5階建て

◆平面計画案



1階

※実際のレイアウトは、設計で変わる可能性があります。



1階

※あくまでもイメージです。

★複合施設 出入口

生涯学習センター、児童館、福祉会館 エントランス

橘小学校正門（児童用出入口）



西側

東側

# 1階

児童館



交流ホール <イメージ>



トワイライトスクール



# 地下1階

※実際のレイアウトは、設計で変わる可能性があります。

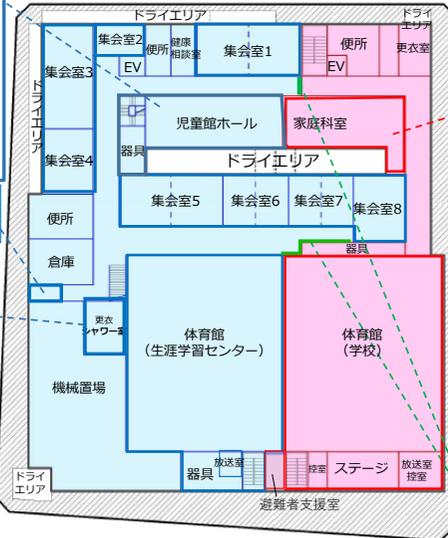
児童館ホールへは、原則、児童館エリア内の専用階段を使用し、セキュリティを確保します。中高生の使用も想定し、バスケットゴールや全身鏡などを整備します。

LGBTQに対応した更衣・便所・シャワースペースを設置します。

福祉会館の浴室は、生涯学習センターのシャワー室に統合します。



福祉会館「楽々体操」の様子



自然光や風通しのため、ドライエリア（地面を掘り下げて設けた空間）を設けます。

学校の家庭科室は、生涯学習センターの料理室と共用します。（学校の利用を優先します。）※部屋の出入口は、別にします。

集会室は、生涯学習センターと福祉会館とで原則共用します。



生涯学習センターの講座の様子

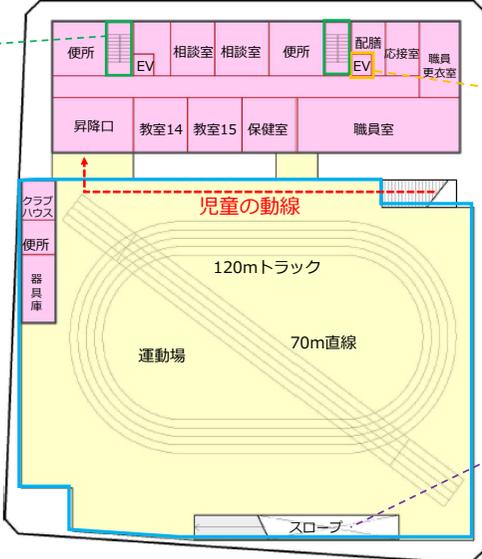
学校活動時間中は閉鎖し、学校エリアのセキュリティを確保します。

# 2階

※実際のレイアウトは、設計で変わる可能性があります。

こちら側の階段は、学校の活動時間中は1階で閉鎖し、市民利用施設エリアから2階以上の学校エリアに立ち入れないようにします。

可能な限り広い運動場を確保します。



階段は学校専用です。

こちら側のエレベータは、給食の配膳や歩行が困難な児童などの移動に使用します。

学校の昇降口は2階に設けます。児童は、1階プレイヤード内の階段を使って移動します。

発災時の消防活動等に対応するため、はしご車が走行できるスロープを整備します。

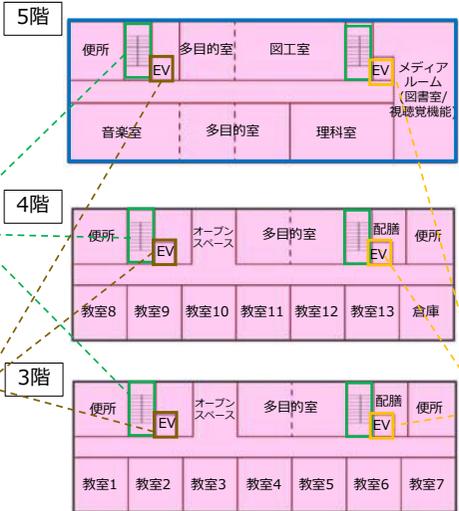
# 3～5階

※実際のレイアウトは、設計で変わる可能性があります。

特別教室は、5階に集約し、学校活動時間外に生涯学習センターなどの市民利用施設も使用します。

こちら側の階段は、学校活動時間外に5階を市民利用施設が活用する場合の非常時にも使用します。

こちら側のエレベータは、市民利用施設用です。2～4階の学校エリアには止まらないようにします。



多目的室は、可動式間仕切りにより特別教室と一体的な空間利用を可能とし、多様な活動に対応できるようにします。

階段は、学校専用です。児童は、原則として階段で移動します。

こちら側のエレベータは、給食の配膳や歩行が困難な児童などの移動に使用します。

## 2 事業の進捗状況

13

### ◆事業手法

施設の設計・建設・管理運営に民間のノウハウを活用した  
**DB+O方式**  
 とします。

DB+O方式とは、  
 市が資金調達を行い、設計(Design)・建設(Build)を一括発注し、  
 施設の運営、維持管理(Operate)は、別途発注する方式  
 です。

設計・建設事業者は、**総合評価落札方式の一般競争入札**により選定します。  
 総合評価の基準の設定から事業者の選定まで、学識経験者である評価委員の  
 ご意見をお聴きし、決定します。

14

### ◆事業スケジュール（予定）



現在は、この段階です。第3段階に進むための準備を行っています。

#### 【令和5年度の主な取組み】

- 整備事業者の公募書類（実施方針、要求水準書案等）の作成  
 民間事業者の支援を受けながら、市役所内の関係部署が協議・検討を行って作成しています。
- 整備費の予算要求
- 仮設校舎の設置・学校運営に関する検討、平面計画図の作成 など

15

#### 【令和6年度の予定】

- 整備事業者の公募・選定
- 市民利用施設の管理・運営に関する検討
- 仮設校舎の設計、平和小学校の外構等工事
- 仮設校舎での学校運営に関する検討 など

橘小学校等複合化整備事業に関する情報はコチラ

<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000124718.html>



16

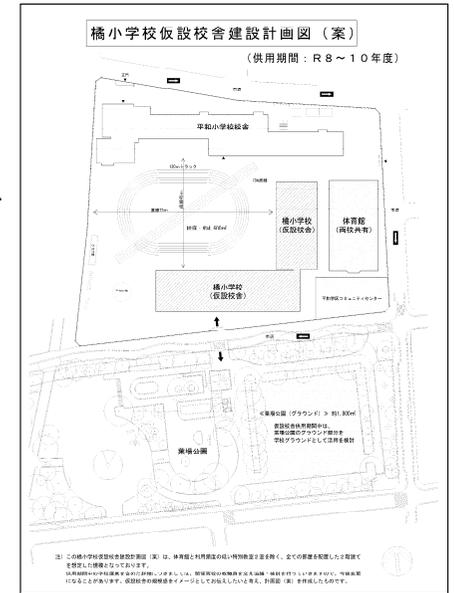
### 3 仮設校舎での学校運営

- 複合施設は、橘小学校の敷地全体に建物が建ちます。
- 建設期間中に学校運営を敷地内で行うことができず、敷地外に仮設校舎や運動場を確保する必要があります。

#### ◆仮設校舎の概要

橘小学校仮設校舎建設計画（案）  
をご覧ください。

- 多くの子どもたちにとって通学の負担が少なく、敷地が広い、平和小学校の運動場に設置します。
- 運動場と体育館は、平和小学校の施設を使用します。  
平和小学校の南側に隣接する葉場公園のスポーツ・レクリエーション広場も活用します。



#### ◆平和小学校の運動場に設置する理由

- 通常の教育活動を行い、また、子どもたちが安全に学校生活を送れる環境として、仮設校舎、体育館、運動場などの施設が一つの敷地内にあるのが理想です。
- しかしながら、橘学区にはまとまった広い土地がありません。
- 東京では、都市公園に小学校の仮校舎を設置した事例がありますが、都市公園に仮設施設を設置できるのは、都市公園法・同法施行令で敷地面積が0.5ヘクタール以上であることが要件とされています。  
学区内で最も広い橘公園は0.48ヘクタールで、上記要件を満たしていません。

橘学区外の近隣で橘小学校を運営できる場所を検討した結果、隣接する小学校の敷地内であれば運動場や体育館を共用することができ、中でも**平和小学校が最も広く、学校への通学距離も名古屋市の小学校の通学距離基準である2km以内で徒歩通学ができる**ため、仮設校舎の設置に最適であるという結論に至りました。

#### ◆仮設校舎のイメージ



## ◆葉場公園スポーツ・レクリエーション広場



利用方法、児童の安全確保策などについて、令和8年度までに検討を行ってまいります。

※写真はイメージです。

※写真はイメージです。

21

## ◆仮設校舎に関する現在の取組みと今後の予定

- 仮設校舎の教室などの配置に関して、平面計画案を作成しています。また、正門の位置や葉場公園への動線などについて検討しています。
- 仮設校舎は、令和6年度に設計を行い、7年度に設置工事を行う予定です。
- 運動場と体育館のほか、特別教室の一部（家庭科室など）は、平和小学校の施設を利用します。  
施設の利用方法などの検討や学校生活の時間調整などを、橘小学校、平和小学校及び教育委員会で行っています。
- 学校行事の日程や場所について、検討しています。
- **仮設校舎の期間中により良い教育活動を行い、子どもたちの学校生活が充実したものとなるよう、引き続き検討してまいります。**

22

## ◆通学路について

### 教育委員会のシミュレーションでの留意点

- 橘学区内は、現在の通学路を活かします。
- 橘学区と平和学区との間にある山王通の横断は、交通事故防止のため、歩道橋や地下通路を活用するなど、安全な経路とします。

課題：歩道橋や地下通路出入口における人の配置 など

- 平和学区内は、交通安全と通学距離に留意して設定します。

課題：横断歩道や道路標識の新設

平和小学校西側道路の安全確保（葉場公園の並木で少し暗い。）

⇒ 正門の位置の変更も含めて検討中

（現在の平面計画図では、敷地の南に設置）

23

## おわりに

- 橘小学校の教育環境の改善、校舎の建替えは、長年の課題となってきましたが、この複合化事業により、ようやく実現することができます。
- 学校施設と他の公共施設との複合化、さらにこれを民間活力により整備することは、本市で初めての試みです。前例がなく、試行錯誤しながら準備を行っています。
- 橘小学校は、名古屋の真ん中にあり、交通至便であるという地理的に好条件であることに加え、地域と学校との結びつきが強く、学校を中心とした地域コミュニティの拠点づくりは、橘小学校だからこそ実現できるものと考えています。
- この事業は、構想策定の段階から、学校、地域、市民利用施設の関係者でワークショップを開催するなど、行政と市民との協働で進めています。
- 令和10年度の完成をめざし、市民の皆様のお力をお借りしながら、一つひとつの工程を着実に進めてまいります。引き続き事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

24